

地盤調査データ速報



ジャパンホームシールド株式会社

〒130-0026 東京都墨田区両国2-10-14

両国シティコア17F

TEL.03-5624-1547

FAX.03-5624-1544

株式会社オープンハウス・アーク外大宮支店 御中

稲田 亮 様

担当者: 山崎 大介

ご依頼ありがとうございます。

調査データをお送り致します。

物件番号 S2018060724

物件名称 練馬区東大泉 A号棟

面倒な調査申込が カンタン・スピーディー

Web申込 はじまっています！

お客様（利用実績1000社以上）から、
たくさんの使って良かった！の声をいただいています。

最初は抵抗があったが、
使ってみると、入力項目も
少なく簡単でした

ペーパーレスでコスト削減に
つながって助かっています

重いデータがスムーズに
送れるようになった

物件進捗状況をいつでも
チェックできるのが
良いね



JHSのHPから『地盤モール』へアクセス！ すぐにご利用いただけます

JHS

検索

(地盤モール URL) <https://jibanmall.reportss.net>

基礎と地盤補強の提案書

物件番号：S2018060724 調査日 2018年06月06日

依頼会社名：株式会社オブハウス・アーキテクト大宮支店 (登録番号：S68437) 作成日 2018年06月07日

物件名称：練馬区東大泉 A号棟

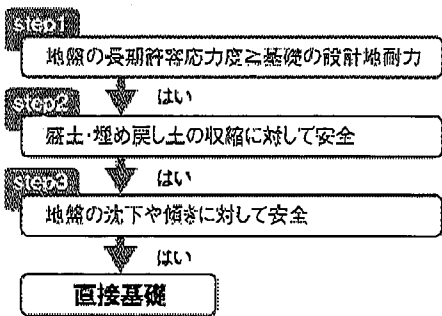
調査方法：SWS試験・SDS試験

建物の構造・階層：木造 2階 基礎の種類：ベタ基礎 基礎の設計地耐力：20.0kN/m²

その他の条件：

● 地盤解析の結果

地盤解析の流れ



下記に示す基礎の仕様と、建物の安全性が確保できる地盤です。

地盤の考察

調査の結果、SDS試験からは表層以深に火山灰質土主体の土層分布が構成されていると推察されます。SWS調査結果においては、自沈を伴う層がみられますが、土層分布の点からみても著しい沈下の懸念はなく戸建住宅の地盤として概ね安定していると評価できます。よって、根切り底への転圧を十分に実施した上で、直接基礎による対応が可能な地盤と考察致します。

地盤の長期許容応力度：3.6 kN/m²

● 基礎と地盤補強の提案

ベタ基礎		
<p>■ 模式図</p> <p>■ 特記事項</p>	<p>■ 模式図</p> <p>■ 特記事項</p>	<p>■ 模式図</p> <p>■ 特記事項</p>
<p>■ その他の記述</p>		<p>■ 特記事項</p>

<上記以外の工法による地盤の補強> 上記の工法以外にも既定取得工法や特許工法などによる地盤補強も可能ですが、その他特殊工法につきましては弊社ホームページをご参照ください。なお、本物件における施工は各工法の基準に基づいて行ってください。

※本内容は、設計の補助としてご提供するものです。
 ※建築基準法等関連法規、および行政等の指針に従って設計施工を行ってください。
 ※解析後に地盤状況が変化した場合、または上記建物計画に変更が生じた場合は、解析結果が変更となる可能性があるため弊社までご連絡ください。
 (例：切土、盛土造成の箇所、設計地耐力の変更など)
 ※別途、地盤に関する情報が追加された場合は、再検討になる場合がございます。
 ※地盤調査後の配管変更につきましては、移動量が50mmを超える場合はお問い合わせください。

ジャパンホームシールド株式会社

〒130-0026 東京都墨田区両国2-10-14
 両国シティコア17F
 TEL.03-5624-1547 FAX.03-5624-1544



解析担当者 山崎 大介

施工に関する情報

● 調査敷地の情報

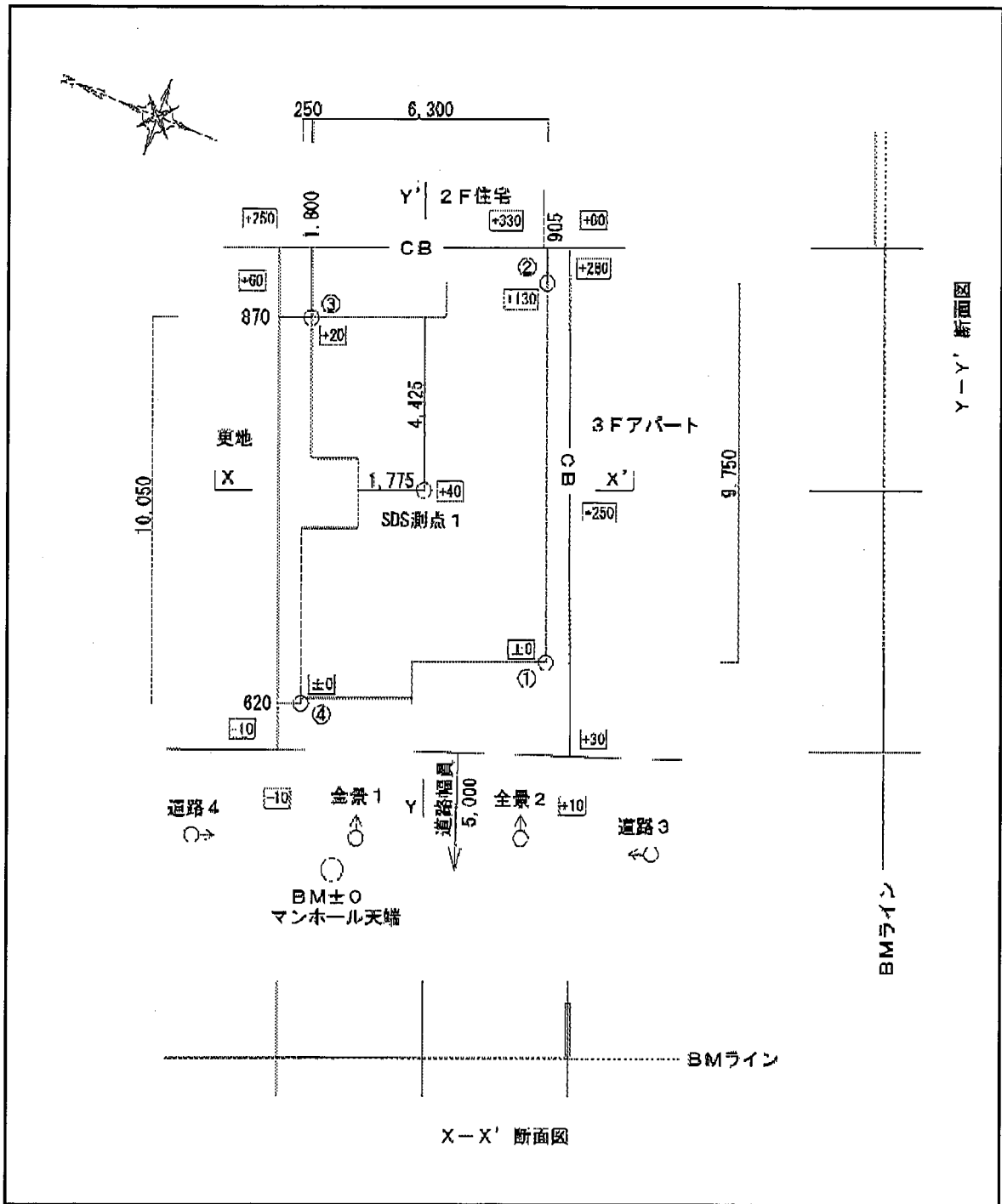
試験時の障害感 ^{注1)}	<input checked="" type="radio"/> 無	有	不明	
地下埋設物 ^{注2)}	<input checked="" type="radio"/> 無	有	不明	井戸 防空壕 樹根 瓦礫 水道管・ガス管・下水管 坑道 その他 ()
近接擁壁 ^{注3)}	<input checked="" type="radio"/> 無	有	不明	計画配置からの離隔が 2m未満 2m以上
擁壁底版 ^{注4)}	<input checked="" type="radio"/> 無	有	不明	計画配置下に 重なる 重ならない
地下水 ^{注5)}	<input checked="" type="radio"/> 無	有	<input checked="" type="checkbox"/> 不明	(水位については試験結果参照)
湧水箇所 ^{注5)}	<input checked="" type="radio"/> 無	有	不明	
搬入車両 ^{注6)}	1t車	<input checked="" type="checkbox"/> 2t車	3t車 4t車 12t車	不可 手運搬 ()m
敷地内搬入車両 ^{注6)}	1t車	<input checked="" type="checkbox"/> 2t車	3t車 4t車 12t車	不可 手運搬
搬入障害 ^{注6)}	<input checked="" type="radio"/> 無	有	不明	ブロック塀 万年塀 板塀 大谷塀 生塀 門柱 法 カーポート 擁壁 その他 ()
高低差 ^{注6)}	道路面より 0 m			
架空線等の障害 ^{注6)}	<input checked="" type="radio"/> 無	有	不明	
境界杭	<input checked="" type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 有	不明	

⚠ 注意事項 設計及び施工に関する注意事項 (✓のついた項目が当条件に該当する注意事項です)

<input type="checkbox"/> 固化不良	セメント系固化材を使用した地盤補強工法を選択する場合、固化不良の発生が懸念される土が存在する可能性があります。事前に配合試験を行うか、または施工前の土質及びpHを確認し、固化材の種類や添加量などの検討を行う必要があります。
<input type="checkbox"/> 地中障害 ^{注1)}	基礎工事や地盤補強工事施工中に地中障害物等が確認された場合には、障害物を除去の上、埋戻し土に腐葉土(碎石等)を用い、新圧不足とならぬ様に十分な締め固めをお願い致します。また、除去時の掘削深さが基礎下から1m程度を超える場合は再調査・再検討が必要となる可能性があります。
<input type="checkbox"/> 空洞 ^{注2)}	地中に防空壕や坑道等など利用される空間が確認された場合、設計・施工検討が必要となります。
<input type="checkbox"/> 擁壁土圧 ^{注3)}	施工位置と擁壁などが近接している場合、オーカー等の掘削の際に側方土圧の影響で擁壁に亀裂、目地の開口等変状が発生する可能性があるため、施工時には注意が必要です。
<input type="checkbox"/> 擁壁底版 ^{注4)}	擁壁と新築の基礎の位置が干渉している場合、掘削による対応が必要となる可能性があるため、基礎掘削の安全性に関する検討が必要です。
<input type="checkbox"/> 近接構造物	構造物等の近接構造物が近い時、偏心、基礎補強等の設計・施工検討等が必要となる可能性があります。
<input type="checkbox"/> 地下水 ^{注5)}	地下水位が高いもしくは地下水量が多いなどの理由により、地盤補強やセメント系固化材を利用した補強の場合、地下水の湧出や添加量の増量が必要となる場合があります。
<input type="checkbox"/> 資機材搬入 ^{注6)}	狭小搬入路や敷地高低差、架空線等により資機材の搬入に支障をきたす場合があります。施工前に現地を視察の上、施工機や資機材の選定、もしくは前送提案以外の地盤補強となる可能性があります。
<input type="checkbox"/> 部分的な盛土や埋め戻し	新規擁壁の掘削や法面の埋め戻しをする際、埋め戻し部分が基礎下にある箇所は、埋め戻し材に良質土を用いるか、固化材を添加(固化材添加50kg/m ³ 以上、ただし土質・含水状況により固化材添加量を決定下さい)して、30cm以下の層を出し車で入敷に締め固めて下さい。(厚さ1.5m以内)
<input checked="" type="checkbox"/> 調査後の切盛土	調査後に、切土や盛土を行いますと解析結果が変更となる可能性がありますので、その場合には必ずお知らせください。
<input checked="" type="checkbox"/> 碎石地業	基礎下の碎石地業時の締め固めを、タンピングランマーまたは振動ローラーにて3回突き程度実施して下さい。

資料 調査敷地状況図

● 物件名称 練馬区東大泉 A号棟



方向	土地利用状況	高低差	擁壁	法面	建物	変状の有無
東側	2F住宅	-0.06~+0.23 m			●	
南側	3Fアパート	+0.03~+0.15 m			●	
西側	道路	-0.01~+0.01 m				
北側	夏地	-0.01~+0.04 m				

敷地内高低差 無 有 ()m

資料 **試験結果**

スウェーデン式サウンディング試験

物件名称		練馬区東大泉 A号棟																
調査場所		東京都練馬区東大泉 6- 1 8																
測点番号		1		調査年月日		2018年06月06日												
高低差		BM ±0.00 m		最終貫入深さ		8.02 m		試験者		亀井 康弘								
水位		不明		天候		雨		試験方法		機械式								
荷重 Wsw (KN)	半回 転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 半回転数 (Nsw)	記 事			推 定 柱状図	荷 重 Wsw(KN)				貫入量1m当りの半回転数 Nsw				換算 N値 Nc※1	許容 支持力 qa※2 (KN/㎡)
					音感・感触	貫入状態	推定土質		0	0.25	0.50	0.75	1	50	100	150		
0.75	0	0.25	25	0		ストーン	粘性土										2.2	22.5
0.75	0	0.50	25	0		スルスル	粘性土										2.2	22.5
0.75	0	0.75	25	0		ストーン	粘性土										2.2	22.5
1.00	0	1.00	25	0		ストーン	粘性土										3.0	30.0
1.00	5	1.25	25	20			粘性土										4.0	42.0
1.00	8	1.50	25	32			粘性土										4.6	49.2
1.00	5	1.75	25	20			粘性土										4.0	42.0
1.00	5	2.00	25	20			粘性土										4.0	42.0
1.00	5	2.25	25	20			粘性土										4.0	42.0
1.00	4	2.50	25	16			粘性土										3.8	39.6
1.00	3	2.75	25	12			粘性土										3.6	37.2
1.00	6	3.00	25	24			粘性土										4.2	44.4
1.00	10	3.25	25	40			粘性土										5.0	54.0
1.00	4	3.50	25	16			粘性土										3.8	39.6
1.00	5	3.75	25	20			粘性土										4.0	42.0
1.00	6	4.00	25	24			粘性土										4.2	44.4
1.00	13	4.25	25	52			粘性土										5.6	61.2
1.00	46	4.50	25	184			砂質土										14.3	> 120
1.00	22	4.75	25	88			砂質土										7.8	82.8
1.00	22	5.00	25	88			砂質土										7.8	82.8
1.00	28	5.25	25	112			砂質土										9.5	97.2
1.00	20	5.50	25	80			砂質土										7.3	78.0
1.00	16	5.75	25	64			粘性土										6.2	68.4
1.00	13	6.00	25	52			粘性土										5.6	61.2
1.00	5	6.25	25	20			粘性土										4.0	42.0
0.75	0	6.50	25	0		スルスル	粘性土										2.2	22.5
0.75	0	6.75	25	0		スルスル	粘性土										2.2	22.5
1.00	0	7.00	25	0		スルスル	粘性土										3.0	30.0
1.00	6	7.25	25	24			粘性土										4.2	44.4
1.00	8	7.50	25	32			粘性土										4.6	49.2
1.00	16	7.75	25	64			粘性土										6.2	68.4
1.00	20	8.00	25	80			粘性土										7.0	78.0
1.00	90	8.02	2	4500		打撃	礫質土										303.5	> 120

※1 $N_c(\text{粘性土}) = 3W_{sw} + 0.050N_{sw}$ $N_c(\text{砂質土}) = 2W_{sw} + 0.067N_{sw}$
 ※2 $q_a(N_a=0) = 30W_{sw} + 0.6N_{sw}$ $q_a(N_a>0) = 30 + 0.6N_{sw}$ (N_{sw} は150以上限としています)

資料 試験結果

スウェーデン式サウンディング試験

物件名称		練馬区東大泉 A号棟																	
調査場所		東京都練馬区東大泉 6- 18																	
測点番号		2			調査年月日		2018年06月06日												
高低差		BM +0.13 m			最終貫入深さ		7.71 m		試験者		亀井 康弘								
水位		不明			天候		雨		試験方法		機械式								
荷重 Wsw (KN)	半回 転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 半回転数 (Nsw)	記事			推定 柱状図	荷重 Wsw(KN)				貫入量1m当りの半回転数 Nsw				換算 N値 Nc※1	許容 支持力 qa※2 (KN/㎡)	
					音感・感触	貫入状態	推定土質		0	0.25	0.50	0.75	1	50	100	150			200
0.50	0	0.25	25	0		ストーン	粘性土											1.5	15.0
0.50	0	0.50	25	0		ストーン	粘性土											1.5	15.0
0.75	0	0.75	25	0		ストーン	粘性土											2.2	22.5
1.00	0	1.00	25	0		スルスル	粘性土											3.0	30.0
1.00	7	1.25	25	28			粘性土											4.4	46.8
1.00	9	1.50	25	36			粘性土											4.8	51.6
1.00	6	1.75	25	24			粘性土											4.2	44.4
1.00	6	2.00	25	24			粘性土											4.2	44.4
1.00	9	2.25	25	36			粘性土											4.8	51.6
1.00	6	2.50	25	24			粘性土											4.2	44.4
1.00	4	2.75	25	16			粘性土											3.8	39.6
1.00	6	3.00	25	24			粘性土											4.2	44.4
1.00	10	3.25	25	40			粘性土											5.0	54.0
1.00	15	3.50	25	60			粘性土											6.0	66.0
1.00	9	3.75	25	36			粘性土											4.8	51.6
1.00	6	4.00	25	24			粘性土											4.2	44.4
1.00	10	4.25	25	40			粘性土											5.0	54.0
1.00	18	4.50	25	72			粘性土											6.6	73.2
1.00	17	4.75	25	68			粘性土											6.4	70.8
1.00	21	5.00	25	84			砂質土											7.6	80.4
1.00	24	5.25	25	96			砂質土											8.4	87.6
1.00	19	5.50	25	76			粘性土											6.8	75.6
1.00	10	5.75	25	40			粘性土											5.0	54.0
1.00	10	6.00	25	40			粘性土											5.0	54.0
1.00	8	6.25	25	32			粘性土											4.6	49.2
1.00	1	6.50	25	4			粘性土											3.2	32.4
1.00	4	6.75	25	16			粘性土											3.8	39.6
1.00	7	7.00	25	28			粘性土											4.4	46.8
1.00	18	7.25	25	72			粘性土											6.6	73.2
1.00	24	7.50	25	96			粘性土											7.8	87.6
1.00	113	7.71	21	538		打撃	礫質土											38.0	> 120

※1 Nc(粘性土) = 3Wsw + 0.050Nsw Nc(砂質土) = 2Wsw + 0.067Nsw
 ※2 qa(Na=0) = 30Wsw + 0.6Nsw qa(Na>0) = 30 + 0.6Nsw (Nswは150%上限としています)

資料 試験結果

スウェーデン式サウンディング試験

物件名称		練馬区東大泉 A号棟																	
調査場所		東京都練馬区東大泉 6- 18																	
測点番号		3			調査年月日		2018年06月06日												
高低差		BM +0.02 m			最終貫入深さ		8.18 m		試験者		亀井 康弘								
水位		不明			天候		雨		試験方法		機械式								
荷重 Wsw (KN)	半回 転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 半回転数 (Nsw)	記 事			推 定 柱状図	荷 重 Wsw(KN)				貫入量1m当りの半回転数 Nsw				換算 N値 Nc※1	許容 支持力 qa※2 (KN/m ²)	
					音感・感触	貫入状態	推定土質		0	0.25	0.50	0.75	1	50	100	150			200
1.00	0	0.25	25	0		スルスル	粘性土											3.0	30.0
1.00	3	0.50	25	12			粘性土											3.6	37.2
0.75	0	0.75	25	0		ストーン	粘性土											2.2	22.5
0.75	0	1.00	25	0		スルスル	粘性土											2.2	22.5
1.00	9	1.25	25	36			粘性土											4.8	51.6
1.00	10	1.50	25	40			粘性土											5.0	54.0
1.00	8	1.75	25	32			粘性土											4.6	49.2
1.00	7	2.00	25	28			粘性土											4.4	46.8
1.00	8	2.25	25	32			粘性土											4.6	49.2
1.00	5	2.50	25	20			粘性土											4.0	42.0
1.00	4	2.75	25	16			粘性土											3.8	39.6
1.00	4	3.00	25	16			粘性土											3.8	39.6
1.00	4	3.25	25	16			粘性土											3.8	39.6
1.00	7	3.50	25	28			粘性土											4.4	46.8
1.00	4	3.75	25	16			粘性土											3.8	39.6
1.00	8	4.00	25	32			粘性土											4.6	49.2
1.00	8	4.25	25	32			粘性土											4.6	49.2
1.00	31	4.50	25	124			砂質土											10.3	104.4
1.00	39	4.75	25	156			砂質土											12.4	> 120
1.00	25	5.00	25	100			砂質土											8.7	90.0
1.00	41	5.25	25	164			砂質土											12.9	> 120
1.00	31	5.50	25	124			砂質土											10.3	104.4
1.00	14	5.75	25	56			粘性土											5.8	63.6
1.00	13	6.00	25	52			粘性土											5.6	61.2
1.00	20	6.25	25	80			粘性土											7.0	78.0
1.00	0	6.50	25	0		スルスル	粘性土											3.0	30.0
1.00	1	6.75	25	4			粘性土											3.2	32.4
1.00	4	7.00	25	16			粘性土											3.8	39.6
1.00	12	7.25	25	48			粘性土											5.4	58.8
1.00	18	7.50	25	72			粘性土											6.6	73.2
1.00	22	7.75	25	88			粘性土											7.4	82.8
1.00	19	8.00	25	76			粘性土											6.8	75.6
1.00	130	8.18	18	722		打撃	礫質土											50.3	> 120

※1 Nc(粘性土) = 3Wsw + 0.050Nsw Nc(砂質土) = 2Wsw + 0.067Nsw
 ※2 qa(Na=0) = 30Wsw + 0.6Nsw qa(Na>0) = 30 + 0.6Nsw (Nswは150を上限としています)

資料 **試験結果**

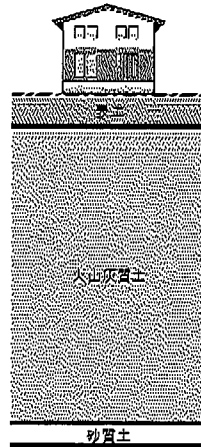
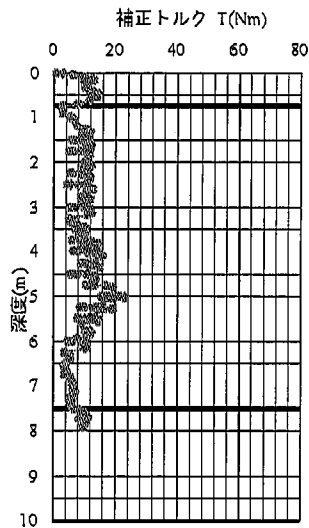
スウェーデン式サウンディング試験

物件名称		練馬区東大泉 A号棟																
調査場所		東京都練馬区東大泉 6- 18																
測点番号		4		調査年月日		2018年06月06日												
高低差		BM ±0.00 m		最終貫入深さ		8.30 m		試験者		亀井 康弘								
水位		不明		天候		雨		試験方法		機械式								
荷重 W _{sw} (KN)	半回 転数 N _a	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 半回転数 (N _{sw})	記事			推定 柱状図	荷重 W _{sw} (KN)				貫入量1m当りの半回転数 N _{sw}				換算 N値 N _c ※1	許容 支持力 q _a ※2 (KN/㎡)
					音感・感触	貫入状態	推定土質		0	0.25	0.50	0.75	1	50	100	150		
1.00	3	0.25	25	12			粘性土										3.6	37.2
1.00	2	0.50	25	8			粘性土										3.4	34.8
0.75	0	0.75	25	0		スルスル	粘性土										2.2	22.5
0.75	0	1.00	25	0		ストン	粘性土										2.2	22.5
1.00	5	1.25	25	20			粘性土										4.0	42.0
1.00	5	1.50	25	20			粘性土										4.0	42.0
1.00	5	1.75	25	20			粘性土										4.0	42.0
1.00	6	2.00	25	24			粘性土										4.2	44.4
1.00	6	2.25	25	24			粘性土										4.2	44.4
1.00	4	2.50	25	16			粘性土										3.8	39.6
1.00	5	2.75	25	20			粘性土										4.0	42.0
1.00	6	3.00	25	24			粘性土										4.2	44.4
1.00	6	3.25	25	24			粘性土										4.2	44.4
1.00	5	3.50	25	20			粘性土										4.0	42.0
1.00	7	3.75	25	28			粘性土										4.4	46.8
1.00	7	4.00	25	28			粘性土										4.4	46.8
1.00	11	4.25	25	44			粘性土										5.2	56.4
1.00	15	4.50	25	60			粘性土										6.0	66.0
1.00	16	4.75	25	64			粘性土										6.2	68.4
1.00	34	5.00	25	136			砂質土										11.1	111.6
1.00	25	5.25	25	100			砂質土										8.7	90.0
1.00	21	5.50	25	84			砂質土										7.6	80.4
1.00	22	5.75	25	88			砂質土										7.8	82.8
1.00	12	6.00	25	48			粘性土										5.4	58.8
1.00	7	6.25	25	28			粘性土										4.4	46.8
1.00	1	6.50	25	4			粘性土										3.2	32.4
1.00	0	6.75	25	0		スルスル	粘性土										3.0	30.0
1.00	4	7.00	25	16			粘性土										3.8	39.6
1.00	7	7.25	25	28			粘性土										4.4	46.8
1.00	8	7.50	25	32			粘性土										4.6	49.2
1.00	13	7.75	25	52			粘性土										5.6	61.2
1.00	37	8.00	25	148			礫質土										11.9	118.8
1.00	107	8.25	25	428		打撃	礫質土										30.6	> 120
1.00	68	8.30	5	1360		打撃	礫質土										93.1	> 120

※1 $N_c(\text{粘性土}) = 3W_{sw} + 0.050N_{sw}$ $N_c(\text{砂質土}) = 2W_{sw} + 0.067N_{sw}$
 ※2 $q_a(N_a=0) = 30W_{sw} + 0.6N_{sw}$ $q_a(N_a>0) = 30 + 0.6N_{sw}$ (N_{sw} は150以上限としています)

資料 試験結果

SDS試験結果による土質区分					
物件名称	練馬区東大泉 A号棟				
調査場所	東京都練馬区東大泉6-18				
測点番号	SDS測点1	高低差	BM+0.04m	調査年月日	2018年6月6日

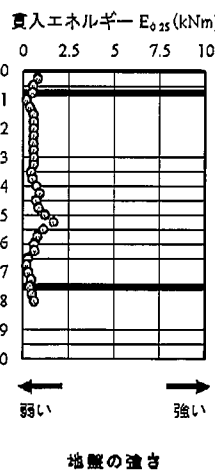
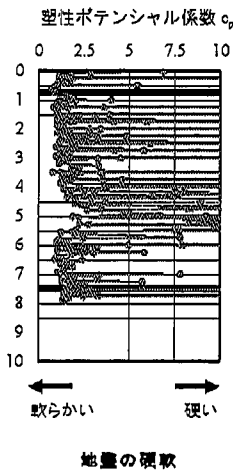
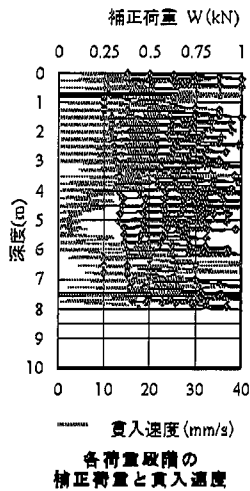


回転させるために必要な力

※SWS試験結果は考慮していません

SDS試験の主要パラメータ

※以下のパラメータ等を用いて土質を推定しています



地盤調査データ速報



ジャパンホームシールド株式会社

〒130-0026 東京都墨田区両国2-10-14

両国シティコア17F

TEL.03-5624-1547

FAX.03-5624-1544

株式会社オープンハウス・アーク外大宮支店 御中

稲田 亮 様

担当者: 山崎 大介

ご依頼ありがとうございます。

調査データをお送り致します。

物件番号 S2018060725

物件名称 練馬区東大泉 B号棟

面倒な調査申込が カンタン・スピーディー

Web申込 はじまっています！

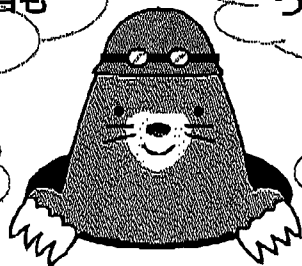
お客様（利用実績1000社以上）から、
たくさんの使って良かった！の声をいただいています。

最初は抵抗があったが、
使ってみると、入力項目も
少なく簡単でした

ペーパーレスでコスト削減に
つながって助かっています

重いデータがスムーズに
送れるようになった

物件進捗状況をいつでも
チェックできるのが
良いね



JHSのHPから『地盤モール』へアクセス！ すぐにご利用いただけます

JHS



(地盤モール URL) <https://jibanmall.reportss.net>

基礎と地盤補強の提案書

物件番号：S2018060725 調査日 2018年06月06日

依頼会社名：株式会社オーブハウス・アーク外大宮支店 (登録番号：S68437) 作成日 2018年06月07日

物件名称：練馬区東大泉 B号棟

調査方法：SWS試験・SDS試験

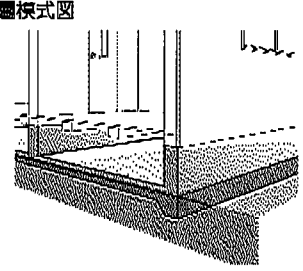
建物の構造・階層：木造 2階 基礎の種類：ベタ基礎 基礎の設計地耐力：20.0kN/m²

その他の条件：

● 地盤解析の結果

地盤解析の流れ	地盤の考察
<p>step1</p> <p>地盤の長期許容応力度≧基礎の設計地耐力</p> <p>↓ はい</p> <p>step2</p> <p>盛土・埋め戻し土の収縮に対して安全</p> <p>↓ はい</p> <p>step3</p> <p>地盤の沈下や傾きに対して安全</p> <p>↓ はい</p> <p style="text-align: center;">直接基礎</p> <p>下記に示す基礎の仕様で、 建物の安全性が確保できる 地盤です。</p>	<p>調査の結果、SDS試験からは表層以深に火山灰質土主体の土層分布が構成されていると推察されます。SWS調査結果においては、自沈を伴う層がみられますが、土層分布の点からみても著しい沈下の懸念はなく戸建住宅の地盤として概ね安定していると評価できます。よって、根切り底への転圧を十分に実施した上で、直接基礎による対応が可能な地盤と考察致します。</p> <p style="text-align: center;">地盤の長期許容応力度：32 kN/m²</p>

● 基礎と地盤補強の提案

ベタ基礎		
<p>■ 模式図</p>  <p>■ 特記事項</p>	<p>■ 模式図</p> <p>■ 特記事項</p>	<p>■ 模式図</p> <p>■ 特記事項</p>
<p>その他の提案</p>		<p>特記事項</p>

< 上記以外の工法による地盤の補強 > 上記の工法以外にも既定取得工法や特許工法などによる地盤補強も可能です。その他特殊工法につきましては弊社ホームページをご参照ください。なお、本物件における施工は各工法の基準に基づいて行ってください。

※本内容は、設計の補助としてご提供するものです。
 ※建築基準法等関連法規、および行政等の指図に従って設計施工を行ってください。
 ※解析後に地盤状況が変化した場合、または上記建物計画に変更が生じた場合は、解析結果が変更となる可能性があるため弊社までご連絡ください。
 (例：切土、盛土造成の誘発、設計地耐力の変更など)
 ※別途、地盤に関する情報が追加された場合は、再検討になる場合がございます。
 ※地盤調査後の設置変更につきましては、移動量が50cmを超える場合はお問い合わせください。

ジャパンホームシールド株式会社

〒130-0026 東京都墨田区両国2-10-14
 両国シティコア17F
 TEL.03-5624-1547 FAX.03-5624-1544

解析担当者 山崎 大介

施工に関する情報

● 調査敷地の情報

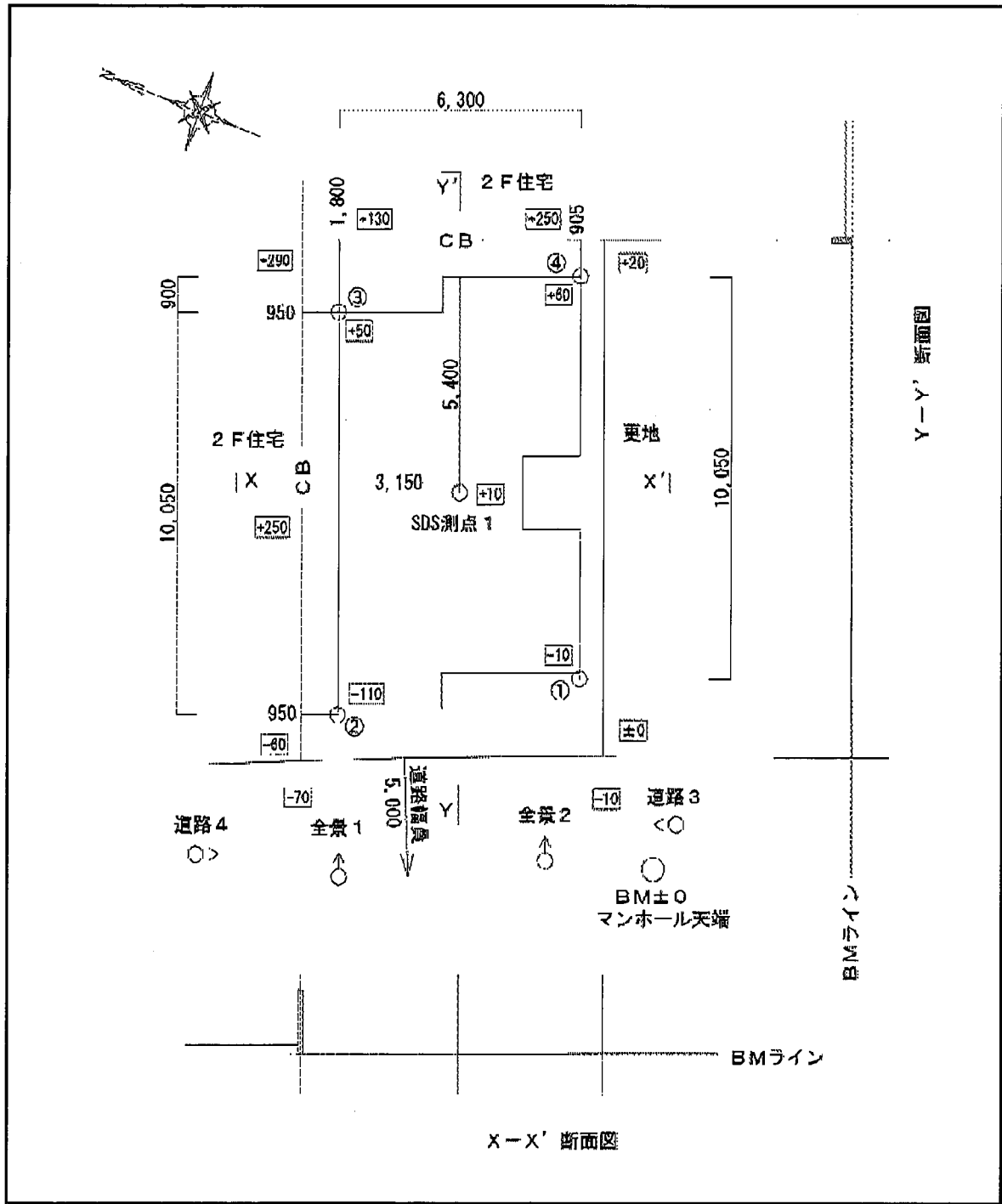
試験時の障害感 ^{注1)}	(無)	有	不明	
地下埋設物 ^{注2)}	(無)	有	不明	井戸 防空壕 樹根 瓦礫 水道管・ガス管・下水管 坑道 その他 ()
近接構造物 ^{注3)}	(無)	有	不明	計画配置からの離隔が 2m未満 2m以上
擁壁底版 ^{注4)}	(無)	有	不明	計画配置下に 重なる 重ならない
地下水 ^{注5)}	(無)	有	(不明)	(水位については試験結果参照)
搬入車両 ^{注6)}	(無)	有	不明	
敷地内搬入車両 ^{注6)}	1t車	(2t車)	3t車 4t車 12t車 不可	手運搬 ()m
搬入障害 ^{注6)}	(無)	有	不明	ブロック塀 万年塀 板塀 大谷塀 生塀 門柱 法 カーポート 擁壁 その他 ()
高低差 ^{注6)}	道路面より 0 m			
架空線等の障害 ^{注6)}	(無)	有	不明	
境界坑	(無)	(有)	不明	

⚠ 注意事項 設計及び施工に関する注意事項 (✓のついた項目が当条件に該当する注意事項です)

<input type="checkbox"/> 固化不良		セメント系固化材を使用した地盤補強工法を選択する場合、固化不良の発生が懸念される主が存在する可能性があります。事前に配合試験を行うか、または施工前の土質及びpHを確認し、固化材の種類や添加量などの検討を行う必要があります。
<input type="checkbox"/> 地中障害 ^{注1)}		基礎工事や地盤補強工事施工中に地中障害物が確認された場合には、障害物を除去の上、埋戻し土に腐葉土(碎石等)を用い、新圧不足とならぬ様に十分な締め固めをお願い致します。また、撤去時の掘削深さが基礎下から1m程度を超える場合は事前調査・再検討が必要となる可能性があります。
<input type="checkbox"/> 空洞 ^{注2)}		地中に防虫網や坑道網などと用いられる空間が確認された場合、設計・施工検討が必要となります。
<input type="checkbox"/> 擁壁土圧 ^{注3)}		施工位置と擁壁などが近接している場合、オーカー等の掘削の際に側方土圧の影響で擁壁に亀裂、目地の開口等変状が発生する可能性があるため、施工時には注意が必要です。
<input type="checkbox"/> 擁壁底版 ^{注4)}		埋物と新築の底版の位置が干渉している場合、湧きによる対応が必要となる可能性があるため、基礎補強の安全性に関する検討が必要です。
<input type="checkbox"/> 近接構造物		境界ブロック等の近接構造物が近い時、掘削・基礎補強等の設計・施工検討が必要となる可能性があります。
<input type="checkbox"/> 地下水 ^{注5)}		地下水位が高いもしくは地下水量が多いなどの理由により、地盤補強やセメント系固化材を利用した補強の場合、地下水の排出や添加量の増減が必要な場合があります。
<input type="checkbox"/> 資機材搬入 ^{注6)}		狭小搬入路や敷地高低差、架空線等により資機材の搬入に支障をきたす場合があります。施工前に現地を視察の上、施工機や資機材の選定、もしくは前送提案以外の地盤補強となる可能性があります。
<input type="checkbox"/> 部分的な盛土や埋め戻し		新規掘削の掘削や法面の掘削をする際、掘削部分が基礎下にある箇所は、掘削土材に良質土を用いるか、固化材を添加(固化材添加50kg/m ³ 以上、ただし土質・含水状況により固化材添加量を決定下さい)して、30cm以下の層を10cm厚で入念に締め固めて下さい。(厚さ1.5m以内)
<input checked="" type="checkbox"/> 調査後の切盛土		調査後に、切土や盛土を行いますと解析結果が真実となる可能性がありますので、その場合には必ずお知らせください。
<input checked="" type="checkbox"/> 碎石地表		基礎下の碎石地表面の締め固めを、タンピングランマーまたは振動ローラーにて3回突き程度実施して下さい。

資料 調査敷地状況図

● 物件名称 練馬区東大泉 B号棟



方向	土地利用状況	高低差	擁壁	法面	建物	至状の有無
東側	2F住宅	+0.08~+0.19 m			●	
南側	更地	-0.04~+0.01 m				
西側	道路	±0~+0.04 m				
北側	2F住宅	+0.05~+0.24 m			●	

敷地内の高低差 (無) 有 ()m

資料 試験結果

スウェーデン式サウンディング試験

物件名称		練馬区東大泉 B号棟													
調査場所		東京都練馬区東大泉 6- 1 8													
測点番号		1		調査年月日		2018年06月06日									
高低差		BM - 0.01 m		最終貫入深さ		8.24 m		試験者		亀井 康弘					
水位		不明		天候		雨		試験方法		機械式					
荷重 Wsw (KN)	半回 転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 半回転数 (Nsw)	記事			推定 柱状図	荷重 Wsw(KN)				換算 N値 Nc※1	許容 支持力 qa※2 (KN/m ²)	
					音感・感触	貫入状態	推定土質		0	0.25	0.50	0.75			1
1.00	33	0.25	25	132		打撃	粘性土							9.6	109.2
1.00	6	0.50	25	24			粘性土							4.2	44.4
0.75	0	0.75	25	0		ストーン	粘性土							2.2	22.5
0.75	0	1.00	25	0		ストーン	粘性土							2.2	22.5
1.00	7	1.25	25	28			粘性土							4.4	46.8
1.00	10	1.50	25	40			粘性土							5.0	54.0
1.00	8	1.75	25	32			粘性土							4.6	49.2
1.00	6	2.00	25	24			粘性土							4.2	44.4
1.00	6	2.25	25	24			粘性土							4.2	44.4
1.00	6	2.50	25	24			粘性土							4.2	44.4
1.00	5	2.75	25	20			粘性土							4.0	42.0
1.00	6	3.00	25	24			粘性土							4.2	44.4
1.00	4	3.25	25	16			粘性土							3.8	39.6
1.00	8	3.50	25	32			粘性土							4.6	49.2
1.00	10	3.75	25	40			粘性土							5.0	54.0
1.00	10	4.00	25	40			粘性土							5.0	54.0
1.00	27	4.25	25	108			粘性土							8.4	94.8
1.00	22	4.50	25	88			粘性土							7.4	82.8
1.00	14	4.75	25	56			粘性土							5.8	63.6
1.00	19	5.00	25	76			粘性土							6.8	75.6
1.00	23	5.25	25	92			粘性土							7.6	85.2
1.00	18	5.50	25	72			粘性土							6.6	73.2
1.00	17	5.75	25	68			粘性土							6.4	70.8
1.00	11	6.00	25	44			粘性土							5.2	56.4
1.00	19	6.25	25	76			粘性土							6.8	75.6
1.00	0	6.50	25	0		ストーン	粘性土							3.0	30.0
1.00	0	6.75	25	0		スルスル	粘性土							3.0	30.0
1.00	3	7.00	25	12			粘性土							3.6	37.2
1.00	7	7.25	25	28			粘性土							4.4	46.8
1.00	10	7.50	25	40			粘性土							5.0	54.0
1.00	12	7.75	25	48			粘性土							5.4	58.8
1.00	36	8.00	25	144			礫質土							11.6	116.4
1.00	134	8.24	24	558		打撃	礫質土							39.4	> 120

※1 Nc(粘性土) = 3Wsw + 0.050Nsw Nc(砂質土) = 2Wsw + 0.067Nsw
 ※2 qa(Na=0) = 30Wsw + 0.6Nsw qa(Na>0) = 30 + 0.6Nsw (Nswは150を上限としています)

資料 **試験結果**

スウェーデン式サウンディング試験

物件名称		練馬区東大泉 B号棟													
調査場所		東京都練馬区東大泉 6- 1 8													
測点番号		2		調査年月日		2018年06月06日									
高低差		BM - 0.11 m		最終貫入深さ		8.05 m		試験者		亀井 康弘					
水位		不明		天候		雨		試験方法		機械式					
荷重 Wsw (KN)	半回 転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 半回転数 (Nsw)	記事			推定 柱状図	荷重 Wsw(KN)	貫入量1m当りの半回転数 Nsw				換算 N値 Nc※1	許容 支持力 qa※2 (KN/m ²)
					音感・感触	貫入状態	推定土質			0	0.25	0.50	0.75		
0.75	0	0.25	25	0		ストーン	粘性土							2.2	22.5
0.50	0	0.50	25	0		ストーン	粘性土							1.5	15.0
0.50	0	0.75	25	0		スルスル	粘性土							1.5	15.0
0.75	0	1.00	25	0		ストーン	粘性土							2.2	22.5
1.00	5	1.25	25	20			粘性土							4.0	42.0
1.00	4	1.50	25	16			粘性土							3.8	39.6
1.00	5	1.75	25	20			粘性土							4.0	42.0
1.00	6	2.00	25	24			粘性土							4.2	44.4
1.00	5	2.25	25	20			粘性土							4.0	42.0
1.00	4	2.50	25	16			粘性土							3.8	39.6
1.00	3	2.75	25	12			粘性土							3.6	37.2
1.00	6	3.00	25	24			粘性土							4.2	44.4
1.00	9	3.25	25	36			粘性土							4.8	51.6
1.00	4	3.50	25	16			粘性土							3.8	39.6
1.00	6	3.75	25	24			粘性土							4.2	44.4
1.00	6	4.00	25	24			粘性土							4.2	44.4
1.00	10	4.25	25	40			粘性土							5.0	54.0
1.00	14	4.50	25	56			粘性土							5.8	63.6
1.00	10	4.75	25	40			粘性土							5.0	54.0
1.00	8	5.00	25	32			粘性土							4.6	49.2
1.00	7	5.25	25	28			粘性土							4.4	46.8
1.00	5	5.50	25	20			粘性土							4.0	42.0
1.00	10	5.75	25	40			粘性土							5.0	54.0
1.00	7	6.00	25	28			粘性土							4.4	46.8
1.00	6	6.25	25	24			粘性土							4.2	44.4
0.75	0	6.50	25	0		ストーン	粘性土							2.2	22.5
0.75	0	6.75	25	0		ストーン	粘性土							2.2	22.5
1.00	3	7.00	25	12			粘性土							3.6	37.2
1.00	5	7.25	25	20			粘性土							4.0	42.0
1.00	5	7.50	25	20			粘性土							4.0	42.0
1.00	23	7.75	25	92			粘性土							7.6	85.2
1.00	63	8.00	25	252			礫質土							18.8	> 120
1.00	73	8.05	5	1460		打撃	礫質土							99.8	> 120

※1 $N_c(\text{粘性土}) = 3W_{sw} + 0.050N_{sw}$ $N_c(\text{砂質土}) = 2W_{sw} + 0.067N_{sw}$
 ※2 $q_a(N_a=0) = 30W_{sw} + 0.6N_{sw}$ $q_a(N_a>0) = 30 + 0.6N_{sw}$ (N_{sw} は150以上限としています)

資料 試験結果

スウェーデン式サウンディング試験

物件名称		練馬区東大泉 B号棟													
調査場所		東京都練馬区東大泉 6- 18													
測点番号		3		調査年月日		2018年06月06日									
高低差		BM +0.05 m		最終貫入深さ		8.45 m		試験者		亀井 康弘					
水位		不明		天候		雨		試験方法		機械式					
荷重 Wsw (KN)	半回 転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 半回転数 (Nsw)	記号			推定 柱状図	荷重 Wsw(KN)	貫入量1m当りの半回転数 Nsw				換算 N値 Nc※1	許容 支持力 qa※2 (KN/㎡)
					音感・感触	貫入状態	推定土質			0	25	50	75		
0.50	0	0.25	25	0		ストーン	粘性土							1.5	15.0
0.50	0	0.50	25	0		ストーン	粘性土							1.5	15.0
1.00	0	0.75	25	0		スルスル	粘性土							3.0	30.0
1.00	0	1.00	25	0		スルスル	粘性土							3.0	30.0
1.00	8	1.25	25	32			粘性土							4.6	49.2
1.00	11	1.50	25	44			粘性土							5.2	56.4
1.00	7	1.75	25	28			粘性土							4.4	46.8
1.00	7	2.00	25	28			粘性土							4.4	46.8
1.00	10	2.25	25	40			粘性土							5.0	54.0
1.00	7	2.50	25	28			粘性土							4.4	46.8
1.00	6	2.75	25	24			粘性土							4.2	44.4
1.00	9	3.00	25	36			粘性土							4.8	51.6
1.00	9	3.25	25	36			粘性土							4.8	51.6
1.00	11	3.50	25	44			粘性土							5.2	56.4
1.00	8	3.75	25	32			粘性土							4.6	49.2
1.00	19	4.00	25	76			粘性土							6.8	75.6
1.00	16	4.25	25	64			粘性土							6.2	68.4
1.00	22	4.50	25	88			粘性土							7.4	82.8
1.00	29	4.75	25	116			粘性土							8.8	99.6
1.00	36	5.00	25	144			粘性土							10.2	116.4
1.00	105	5.25	25	420		打撃	粘性土							24.0	> 120
1.00	26	5.50	25	104			粘性土							8.2	92.4
1.00	30	5.75	25	120			粘性土							9.0	102.0
1.00	38	6.00	25	152			粘性土							10.6	> 120
1.00	24	6.25	25	96			粘性土							7.8	87.6
1.00	16	6.50	25	64			粘性土							6.2	68.4
1.00	3	6.75	25	12			粘性土							3.6	37.2
1.00	4	7.00	25	16			粘性土							3.8	39.6
1.00	5	7.25	25	20			粘性土							4.0	42.0
1.00	7	7.50	25	28			粘性土							4.4	46.8
1.00	26	7.75	25	104			粘性土							8.2	92.4
1.00	33	8.00	25	132			粘性土							9.6	109.2
1.00	19	8.25	25	76			粘性土							6.8	75.6
1.00	95	8.45	20	475		打撃	礫質土							33.8	> 120

※1 $Nc(\text{粘性土}) = 3Wsw + 0.05Nsw$ $Nc(\text{砂質土}) = 2Wsw + 0.067Nsw$
 ※2 $qa(Na=0) = 30Wsw + 0.6Nsw$ $qa(Na>0) = 30 + 0.6Nsw$ (Nsw は150を上限としています)

資料 **試験結果**

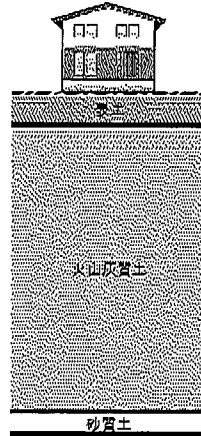
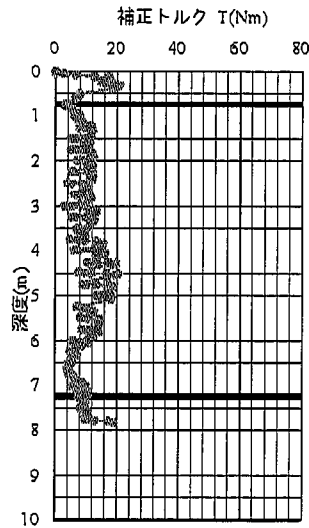
スウェーデン式サウンディング試験

物件名称		練馬区東大泉 B号棟													
調査場所		東京都練馬区東大泉 6- 18													
測点番号		4		調査年月日		2018年06月06日									
高低差		BM +0.06 m		最終貫入深さ		8.14 m		試験者		亀井 康弘					
水位		不明		天候		雨		試験方法		機械式					
荷重 Wsw (KN)	半回 転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 半回転数 (Nsw)	記事			推定 柱状図	荷重 Wsw(KN)	貫入量1m当りの半回転数 Nsw				換算 N値 Nc※1	許容 支持力 qa※2 (KN/m ²)
					音感・感触	貫入状態	推定土質			0	0.25	0.50	0.75		
1.00	0	0.25	25	0		スルスル	粘性土							3.0	30.0
0.75	0	0.50	25	0		ストーン	粘性土							2.2	22.5
0.75	0	0.75	25	0		ストーン	粘性土							2.2	22.5
1.00	0	1.00	25	0		スルスル	粘性土							3.0	30.0
1.00	6	1.25	25	24			粘性土							4.2	44.4
1.00	8	1.50	25	32			粘性土							4.6	49.2
1.00	7	1.75	25	28			粘性土							4.4	46.8
1.00	6	2.00	25	24			粘性土							4.2	44.4
1.00	5	2.25	25	20			粘性土							4.0	42.0
1.00	6	2.50	25	24			粘性土							4.2	44.4
1.00	4	2.75	25	16			粘性土							3.8	39.6
1.00	4	3.00	25	16			粘性土							3.8	39.6
1.00	5	3.25	25	20			粘性土							4.0	42.0
1.00	5	3.50	25	20			粘性土							4.0	42.0
1.00	3	3.75	25	12			粘性土							3.6	37.2
1.00	3	4.00	25	12			粘性土							3.6	37.2
1.00	14	4.25	25	56			粘性土							5.8	63.6
1.00	13	4.50	25	52			粘性土							5.6	61.2
1.00	9	4.75	25	36			粘性土							4.8	51.6
1.00	15	5.00	25	60			粘性土							6.0	66.0
1.00	21	5.25	25	84			粘性土							7.2	80.4
1.00	107	5.50	25	428		打撃	粘性土							24.4	> 120
1.00	22	5.75	25	88			粘性土							7.4	82.8
1.00	39	6.00	25	156			粘性土							10.8	> 120
1.00	8	6.25	25	32			粘性土							4.6	49.2
1.00	0	6.50	25	0		ストーン	粘性土							3.0	30.0
1.00	4	6.75	25	16			粘性土							3.8	39.6
1.00	5	7.00	25	20			粘性土							4.0	42.0
1.00	13	7.25	25	52			粘性土							5.6	61.2
1.00	18	7.50	25	72			粘性土							6.6	73.2
1.00	27	7.75	25	108			粘性土							8.4	94.8
1.00	29	8.00	25	116			粘性土							8.8	99.6
1.00	106	8.14	14	757		打撃	礫質土							52.7	> 120

※1 $N_c(\text{粘性土}) = 3W_{sw} + 0.050N_{sw}$ $N_c(\text{砂質土}) = 2W_{sw} + 0.067N_{sw}$
 ※2 $q_a(N_a=0) = 30W_{sw} + 0.6N_{sw}$ $q_a(N_a>0) = 30 + 0.6N_{sw}$ (N_{sw} は150以上限としています)

資料 **試験結果**

SDS試験結果による土質区分				
物件名称	練馬区東大泉 B号棟			
調査場所	東京都練馬区東大泉 6-18			
測点番号	SDS測点1	高低差	BM+0.01m	調査年月日 2018年6月6日

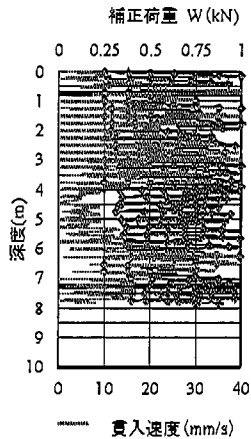


回転させるために必要な力

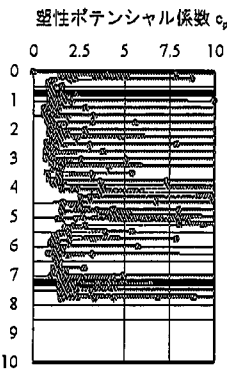
※SWS試験結果は考慮していません

SDS試験の主要パラメータ

※以下のパラメータ等を用いて土質を推定しています

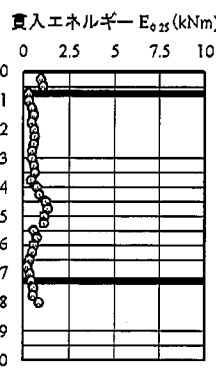


各荷重段階の
修正荷重と貫入速度



← 軟らかい 硬い →

地盤の硬軟



← 弱い 強い →

地盤の強さ